

第10回航空機運航のDX推進に向けた検討会

リアルタイムな情報共有の改善 進捗報告 令和5年11月24日

リアルタイムな情報共有の改善WG事務局
成田国際空港株式会社
成清 達哉



リアルタイムな情報共有の改善WG(チーム①) 参加会社



官公庁
航空局交通管制部 交通管制企画課
航空局交通管制部 運用課
航空局交通管制部 管制技術課
気象庁 総務部

会社名
(リーダー) 成田国際空港株式会社
中部国際空港株式会社
関西エアポート株式会社
日本空港ビルデング株式会社
広島国際空港株式会社
富士山静岡空港株式会社
高松空港株式会社
熊本国際空港株式会社
北海道エアポート株式会社
日本航空株式会社
全日本空輸株式会社

取組の目標

目標:リアルタイムな情報を活用して空港運用(や航空機運航の)DXを促進する。

取組の内容

①ボトルネックとなっている事象(課題)の確認

なぜ情報共有が必要かの分析

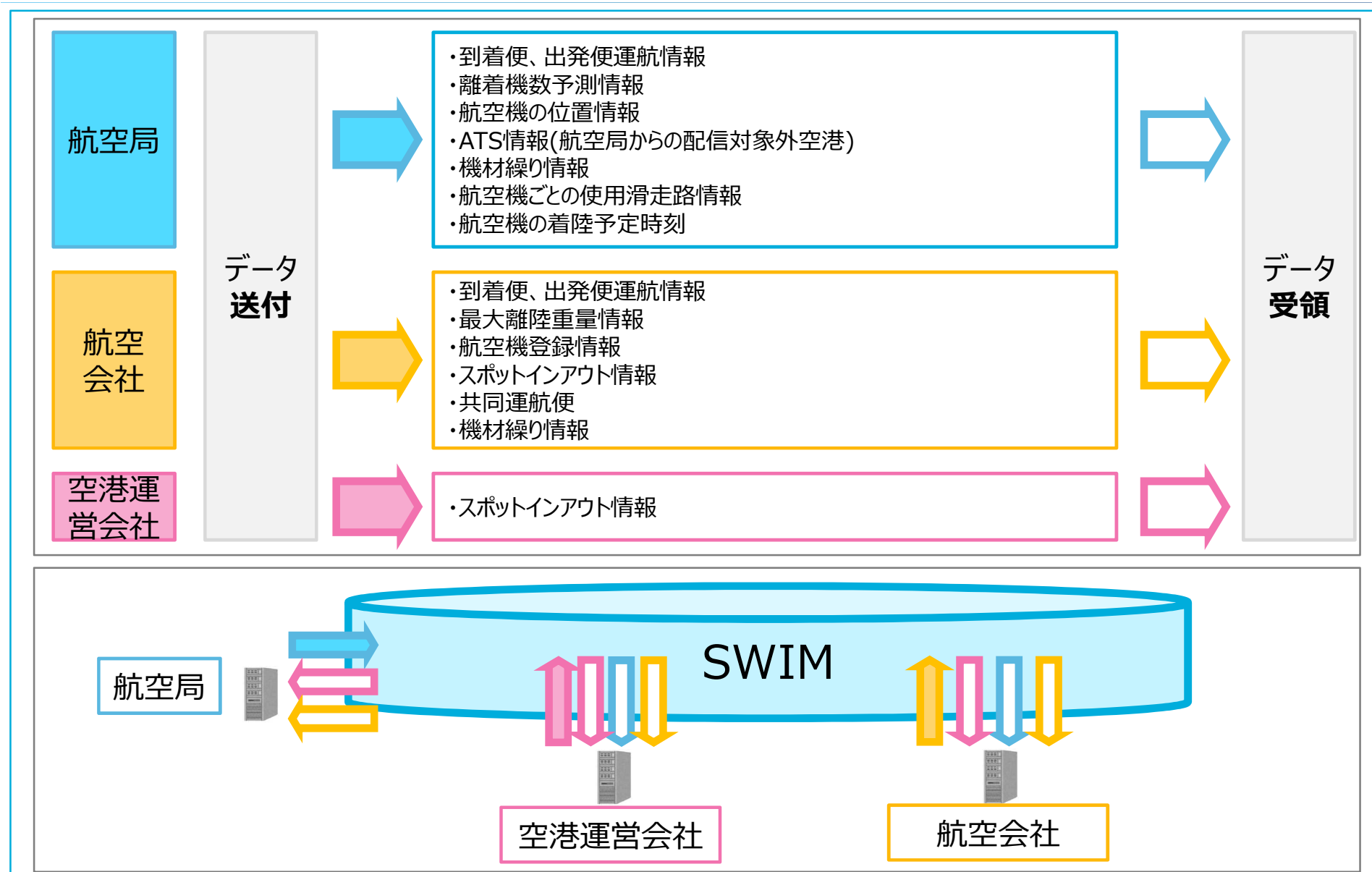
- ・アウトプット: 関連項目の情報共有が必要とされる(論理立った)理由

②各ステークホルダーがリアルタイムな情報共有を必要とする情報項目整理

必要な情報共有項目の整理(優先順位の整理)

- ・アウトプット: 関連項目の情報共有項目の整理表

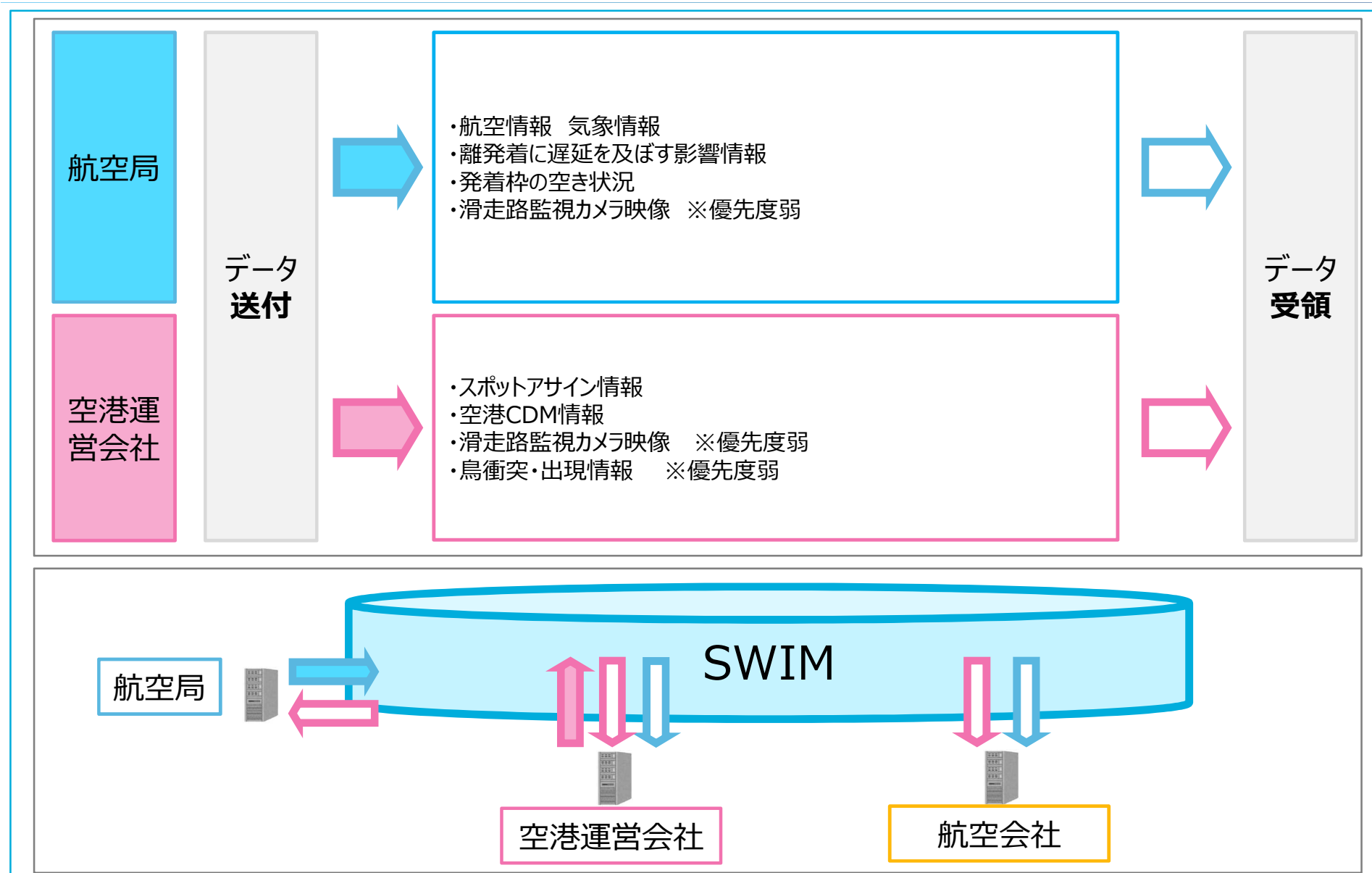
1. 航空機運航に関する情報整理



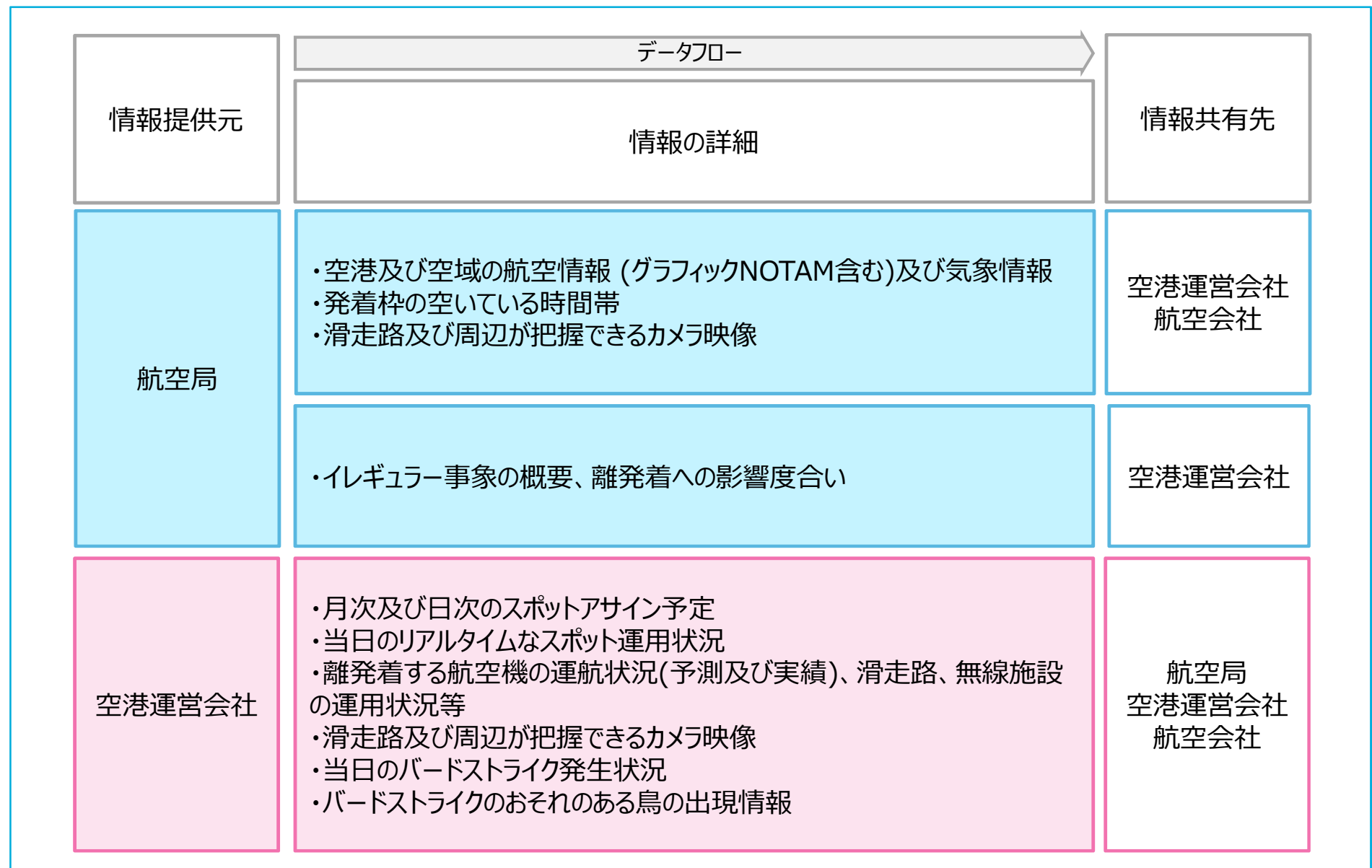
1. 航空機運航に関する情報の詳細

情報提供元	データフロー 情報の詳細	情報共有先
航空局	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の出発、到着予定及び実績 ・離着機数予測情報 ・FIR入域の予定及び実績時刻 ・フライトプラン等 ・機材繰り情報 ・航空機ごとの使用滑走路情報 	空港運営会社 航空会社
航空会社	<ul style="list-style-type: none"> ・欠航、遅延、引き返し 目的地変更の場合の理由、旅客降機及び復航の有無 ・各フライト毎の航空機最大離陸情報 ・登録記号、型式、所有者、定置場、騒音値、最大離陸情報等 ・スポットインアウト予定・実績時刻 ・トーイング開始から終了時刻 ・共同運航便の従（子）便の情報（航空会社+便名） ・機材繰り情報 	航空局 空港運営会社 航空会社
空港運営会社	<ul style="list-style-type: none"> ・スポットインアウト予定・実績時刻 ・トーイング開始から終了時刻 	航空局 空港運営会社 航空会社

2. エアサイドに関する情報整理



2. エアサイドに関する情報の詳細



まとめ

- チーム①「リアルタイムな情報共有の改善チーム」にて、SWIMを活用して情報共有を行いたい項目を分類して整理した。
- 整理を行う際には「情報の種類」「情報の詳細」「利用の目的」「情報共有先」「情報提供元」を加味してディスカッションを実施した。
- SWIMの初期サービスでは航空局にてオープン化されたデータの活用（下り）のみであるが、本チームで提言させていただきたいことは、空港・エアライン等、航空業界に関わる企業の**オープンデータ化に向けてSWIMを活用すること**である。いわゆる**上りの連携でもSWIMを活用することで双方向のデータ連携をSWIMに求めたい**。
- 一方、双方向のデータ連携にSWIMを活用した際に、**データ活用に向けたルールを定めることが課題としてあがった**。本課題については、オープン化するデータの利用用途等を検討し、利用制限を設ける必要があるか等、引き続き議論が必要である。